

EUROPAE
PARS.

開館10周年記念特別展

マルコ・ポーロが見た

Special exhibition celebrating the 10th anniversary of YMEAC
“EurAsia through a Venetian's Eyes: Il Milione of Marco Polo”

ユーラシア

『東方見聞録』の世界



2013年

4.27 (土)

~ 6.30 (日)

Saturday, April 27 to Sunday, June 30, 2013

【開館時間】9:30 - 17:00 入館は16:30まで Admission until 16:30

【休館日】毎週月曜日(ただし、4月29日(月・祝)、5月6日(月・祝)は開館、4月30日(火)、5月7日(火)は休館)

Closed on Mondays (except April 29, and May 6), and Tuesdays, April 30 and May 7.

【会場】横浜ユーラシア文化館 3階企画展示室、2階展示室(一部)

【入館料】一般300円、小・中学生150円

Admission: ¥300 for adults, ¥150 for primary and junior high school students

- ・特別展の観覧券で2階常設展示室、4階横浜都市発展記念館もご覧いただけます。
- ・「濱ともカード」「敬老特別乗車証」「身体障害者手帳」「障害者手帳」「愛の手帳(療育手帳)」などをお持ちの方は無料です。
- ・毎週土曜日は小学生・中学生・高校生は無料です。

 **横浜ユーラシア文化館**
Yokohama Museum of EurAsian Cultures

〒231-0021 横浜市中区日本大通 12
Tel.045-663-2424 Fax.045-663-2453
12 Nihon-odori, Naka-ku, Yokohama <http://www.eurasia.city.yokohama.jp/>



【主催】横浜ユーラシア文化館 【共催】横浜市教育局

【後援】朝日新聞横浜総局・神奈川新聞社・日本経済新聞社横浜支局・毎日新聞社横浜支局・読売新聞東京本社横浜支局・NHK 横浜放送局・+uk

展示概要

誰もが知っているマルコ・ポーロの『東方見聞録』。でも、その内容については意外と知られていないようです。開館10周年を記念する今回の展示会は、この『東方見聞録』に焦点をあてます。

17歳のマルコ・ポーロは1270年にヴェネツィアを旅立ち、イラン、中央アジアを横断し中国に到達。1295年に帰国するまで、当時の中国を支配していた元朝の皇帝フビライ・ハーンに仕えたといわれています。

25年にわたって見聞きたユラシア各地の産物、宗教、風俗、伝承が記された『東方見聞録』。そこから見てくるユラシアの13～14世紀は、人、モノ、文化の移動がグローバルに行われた時代でした。陸と海のルートを通じた東西交易では中国陶磁をはじめ多くの品物が運ばれ、イスラームやヨーロッパ出身の人々がモンゴル帝国で官僚として重用され活躍しました。

本展では『東方見聞録』の内容のほか、その時代背景や政治・宗教・文化交流を陶磁器、絵画、典籍、地図など東西様々な資料から紹介します。また『東方見聞録』が後世の世界観に与えた影響も探っていきます。

展示構成

第1章 マルコ・ポーロとは？

第2章 マルコ・ポーロの見たユラシア世界

第3章 マルコ・ポーロと黄金の国ジパング

第4章 世界に広がるマルコ・ポーロ

イスラームの
タイルに
中国風の
鳳凰！



ラスター彩鳳凰文星形タイル
イラン 13世紀
常滑市蔵
INAXライブミュージアム委託管理

コロンブス
も愛読した
『東方見聞録』



てつはう
鷹島神崎遺跡 13世紀
松浦市教育委員会蔵

特別公開

4月27日(土)～5月10日(金)



『東方見聞録』
1484年頃刊行
天理大学附属天理図書館蔵

特別公開

4月27日(土)～5月17日(金)



マニ教絵画「六道図」
中国 14世紀前半
大和文華館蔵

マルコ・ポーロ
帰還時の
記録が残る
書籍



『永楽大典』
中国 15世紀
(財)東洋文庫蔵

マルコ・ポーロ
が出会った
西方渡来の宗教
マニ教



中国の壺に
モンゴル人
騎馬像？

青花騎馬人物文壺
中国 14世紀
出光美術館蔵

作品保護のため会期中、一部展示替えを行います。

公益財団法人 横浜市ふるさと歴史財団

横浜ユーラシア文化館
Yokohama Museum of EurAsian Cultures

〒231-0021 横浜市中区日本大通 12 12 Nihon-odori, Naka-ku, Yokohama
Tel.045-663-2424 Fax.045-663-2453 <http://www.eurasia.city.yokohama.jp/>

関連企画

(1) パネル展示

「写真でたどる蒙古襲来の足跡」

【会場】2階展示室(一部)

(2) 学芸員による展示解説

【日程】5月5日(日)、5月19日(日)、6月2日(日)、

6月16日(日)、6月30日(日)

【時間】14:00開始(30分程度)

【参加費】特別展入館料のみ。

*お時間になりましたら、3階展示室入口にお集まりください。

(3) ゲルを展示します！

【公開日】5月25日(土)～6月2日(日)

【組立日】5月25日(土)

【解体日】6月2日(日)

*6月2日開港記念日は入館無料です。

参加
無料



講演会・講座

講演会「マルコ・ポーロが開いた扉」

【日程】5月18日(土)

【時間】13:30受付、14:00開始(1時間30分程度)

【会場】横浜市開港記念会館1号会議室

【講師】樺山 紘一(印刷博物館館長)

【参加費】900円(特別展招待券付)

【定員】100名(申込み多数の場合は抽選)

【申込み方法】住所・氏名(フリガナ)・電話番号を明記の上、往復ハガキまたはホームページからお申込みください。

【申込み締切日】5月4日(土)まで消印有効

【申込み先】231-0021 横浜市中区日本大通12

「横浜ユーラシア文化館講演会」係

<http://www.eurasia.city.yokohama.jp/>

*1通につき2名様まで。2名様でお申込みの際は同伴者のお名前もお書きください。

*EAMハマ発カード会員は優先的に申込みを受け付けます。お申込み時に会員番号をご記入ください。

連続講座

【日程】

・5月11日(土)

「マルコ・ポーロの人物と『東方見聞録』」

四日市 康博

(早稲田大学特別招聘研究員、本展示監修者)

・5月25日(土)『『東方見聞録』から見た真珠』

竹田 多麻子(横浜ユーラシア文化館)

・6月22日(土)

「東西ユーラシア交流とマルコ・ポーロ」

四日市 康博

(早稲田大学特別招聘研究員、本展示監修者)

【時間】14:00～(1時間程度)

【会場】1階ギャラリー

【参加費】200円

【定員】30名(先着順)

*お時間になりましたら、1階ギャラリーにお集まりください。

*展示室に入るには、別途観覧料がかかります。

特別体験学習

「活版印刷を体験しよう！」

【日程】6月1日(土)、6月2日(日)

【協力】凸版印刷株式会社 印刷博物館

*内容、申込み方法などにつきましては、追ってホームページ、チラシ等でお知らせいたします。

会期中の週末には、ワークショップも予定しております。

(開催日時は未定)

*詳細は決まり次第、ホームページ、チラシ等でお知らせいたします。



●みなとみらい線日本大通り駅3番出口から 徒歩0分 ●JR関内駅南口、市営地下鉄関内駅1番出口から 徒歩10分 ●市営バス「日本大通り駅県庁前」下車 徒歩1分